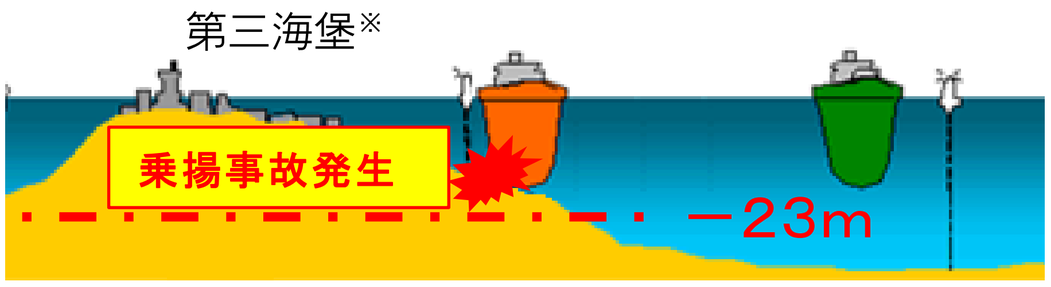
生産性革命
by インフラ
第4次重点計画

千葉県・東京都・神奈川県

海の大動脈整備で我が国の経済を支える

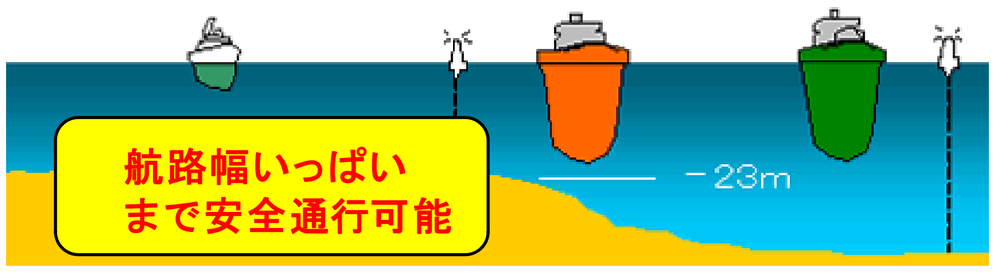
現 在 now　　**将 来** future

インフラ



※海堡: 海上に築造した砲台

海堡撤去
航路浚渫等



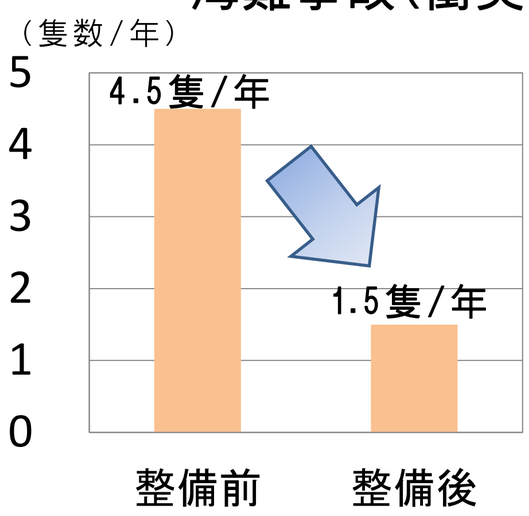
地域

暗礁化した第三海堡

衝突・炎上事故(S49)

船舶の
安全・効率的な
航行の実現

海難事故(衝突・乗揚)の減少



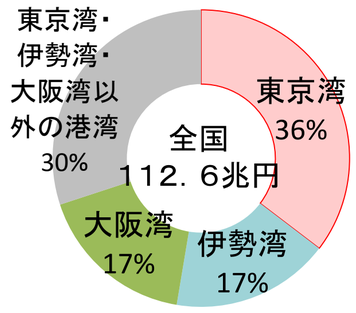
〈水先人※等の声〉
第三海堡等が物理的になくなったことによる安心感は非常に大きい。

※水先人:船舶が港湾へ入出するときや、内水域あるいは沿岸を航行するとき、船長に代り又は補佐して船を安全に運航し誘導する人

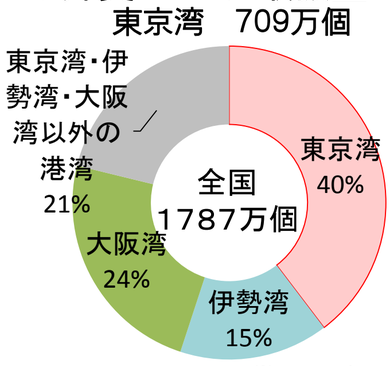
安全・効率的な航行

- 東京湾中央航路は、東京港、横浜港等に出入りする船舶が1日あたり約500隻航行する世界有数の海上交通過密海域
- 湾内の港湾で取り扱う貨物の貿易額や外貿コンテナ取扱量は、全国の約4割を占め、我が国経済を支える大動脈
- 海堡撤去や航路浚渫により、船舶の安全・効率的な航行を実現(海難に伴う損失額約60億円/年を縮減)し、湾内の物流機能や経済活動を支える

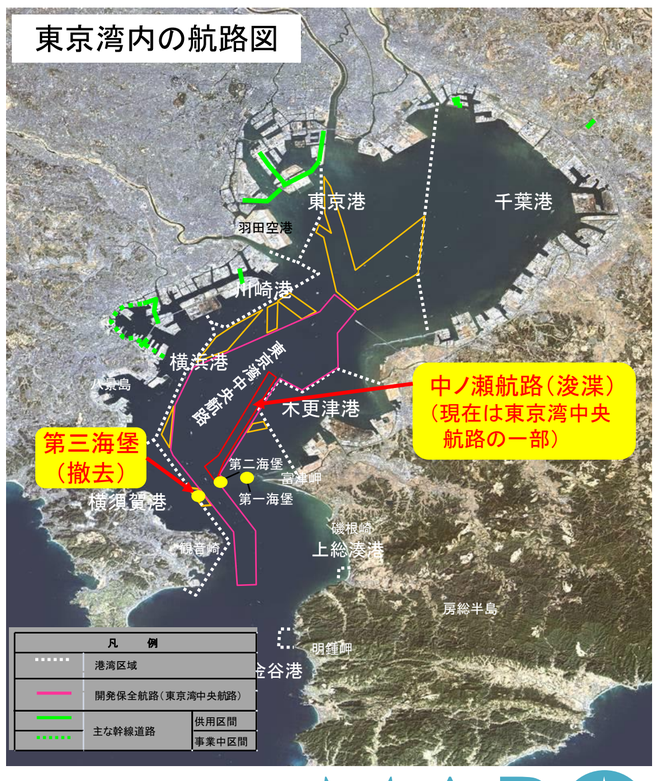
▼貿易額(輸出入合計)
東京湾　39.8兆円



▼外貿コンテナ取扱量※
東京湾　709万個



※ 20フィートコンテナ換算
出典:2015年貿易統計　出典:2014年港湾統計



MAP